

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	なはまちつながるプロジェクト
対象地域	沖縄県那覇市・中心市街地(特に、久茂地小・神原小・壺屋小・前島小・開南小学校区)
活動概要	<p>この地域に関わる人や組織がつながり初め、そのつながりを活かして、地域への愛着・誇りを育み、迫り来る地域問題も解決し、後世へ”なはまち”地域を受け継ぐことができるような持続可能なつながりの仕組みをつくることを目的する。今年度の取り組みとしては、商店街組織や地縁組織、学校組織、企業などの地域組織による活動情報などの現在・過去の地域情報収集・発信を行うことを通じて、地域内がつながれるきっかけづくりを行う仕組みづくりに重点を置き取り組みます。</p>
今年度の主な取組	<p>『現在』『過去』の地域情報を収集・蓄積し活用できる場をつくる (1) 地域内で行われる行事や会議など、地域組織や地域に暮らす人々が求めている地域情報を収集・発信をWebや情報誌を活用し、地域の情報を共有できる環境をつくりながら地域内の緩やかなつながりづくりを行います。 (2) 地域内でこれまで行われた調査研究などの取り組みのリサーチや戦後復興を担ってきた人々へのインタビューを行う等の地域情報を収集しアーカイブを作成する。このアーカイブはインターネット上でのデジタルストックと、写真集といったようなアナログストックによって作成する。 (3) これからの情報に地域の人々が気軽にアクセスでき、自らが情報や知識を得ることができるよう地域の中に拠点(まちなか今昔情報ライブラリー(仮称))を設置する。この拠点が、人と人のつながりに拠点、現在・過去・未来をつなぐ拠点となるような空間づくりを行う。場所に想定としては、地域の中にある公共施設で利活用が問題となっている那覇市施設「にぎわい広場」(旧・第2牧志公設市場)の一部を利用しながら進め、社会実験として今後の利活用の可能性を探る。 (4) 地域内をフィールドに、地域内・外に人々が実施した調査・研究・イベントなどの取り組みをそれぞれの実施主体が地域の人々に対して発表する機会「マチグワー楽会」として実施する。このイベントは次年度以降も年1回の取り組みとして行えるように「楽会員」を募ったり、「楽会誌」を発行・販売するなど取り組む。</p>

活動結果	<p>商店街、学校、企業等の様々な地域組織による活動情報の変遷情報を収集し、又発信することを通じて、最大の目的である「地域内がつながれるきっかけづくり」の仕組みができあがった。今後は、このつながりを継続するための仕組みづくりが必要である。</p>
当初予想していなかった効果	<p>収集した資料をのちに編集・加工を行い地域情報誌として、子供から大人まで見てもらえるよる情報を発信した。地域内で配られているため知り合い・親戚等見る人に親近感が得られるせいか、情報に興味を持ち確実に情報を受けてもらえた。</p>
実施状況(写真)	
応募団体名	特定非営利活動法人 まちなか研究所わくわく
リンク	http://www.machiwaku.com/index.html
部局／担当者名	
連絡先	098-861-1469
推薦市町村名	那覇市